

総会 第1号議案

特定非営利活動法人 鎌倉広町の森市民の会

2023年度事業報告書 (第22期：2023.4.1～2024.3.31)**1 2023年度の取り組み概要****(1) 従来からの活動の着実な実行**

NPO 設立以来20年間に渡り取り組んできた里山復元活動のボランティア活動、第1期指定管理者から通算8年で得た経験と知識を活かし、鎌倉広町緑地の環境の保全と向上に努めた。市民が都市林の環境を楽しめる機会をより多く創出し、併せて都市林の維持管理と生物多様性の重要性を理解してもらうことに努めた。

また、市民自ら管理運営に参加できる仕組み作りとして近隣自治会との協働作業の実施、子ども達の自然体験の場所づくりなどを行った。

(2) 次期指定管理単独受託に向けた諸体制の整備**① 指定管理に係る提案書作成プロジェクトチーム**

有志の理事により、次期指定管理者の資格を獲得すべくプロジェクトチームを立ち上げ、指定管理にかかる提案書のたたき台を作成するための活発な議論を行い、これを基に理事会においてさらに議論を重ね、提案書を完成させた。

2023年10月6日に鎌倉市都市公園指定管理者選定委員会において、プレゼンテーションを行い、その後の厳正な審査の結果、鎌倉広町緑地指定管理者候補者に選定された。

12月の議会決定を経て、2024年1月4日に指定管理者指定書を受け取り、次期指定管理者に決定した。

② 市民の会会員の増強 ～社会的認知の向上～

鎌倉広町緑地を単独で管理していく上で、市民の会の活動を広く周知し、市民の支持と信頼を得、併せて安定的、継続的な活動のために市民の会の会員を増やしていくことは今後とも必要不可欠であるとの認識の元、機会をとらえて、様々な場面で、市民の会の活動の周知を図った。

そうした活動の成果の一つとして、久光製薬株式会社従業員の推薦により、同社の運営する「ほっとハート倶楽部」から顕彰され、10万円の寄付をいただいた。

③ 理事会・事務局の再構築の検討

2024年度から鎌倉広町緑地の管理を市民の会単独で担うことを前提に理事会・事務局の体制の強化を図るため、理事会の下に「管理運営委員会」を設け、理事会の決定をサポートする機能を持たせることを検討している。また、事務局については、従来の公園管理の機能をさらに充実させ、また、来園者へのホスピタリティ向上のため事務所機能の向上と多様化のためにスタッフの増員を図り、2024年度から新体制での管理・運営を行う準備を整えた。

2 事業内容

(1) 都市林公園づくりの活動を通じて、自然環境を保全する取り組みを行い、生物多様性の重要性を広く啓発する事業

① 里山復元ボランティア活動

・内容：田んぼの会、畑の会、森の会、散策路の会、自然観察の会の運営

・日時：実績

| | |
|------------|------|
| 田んぼの会活動日数 | 63日 |
| 畑の会活動日数 | 167日 |
| 森の会活動日数 | 22日 |
| 自然観察の会活動日数 | 212日 |
| 散策路の会活動日数 | 44日 |

・場所：鎌倉広町緑地全域

・従事者人員：延べ 3,507人

・受益対象者：市民

② 広町緑地の保全・管理に必要な各種研修の開催

・内容：他団体の緑地の案内、他公園などの視察、研修の受講、刈払機講習資格取得など

・日時：通年

・場所：鎌倉広町緑地内、研修先

・従事者人員：10名

・受益対象者：市民

③ 環境保全委員会の開催

・内容：広町緑地の管理のための小エリアの計画づくりを目指し2023年10月から毎月土曜日の午後委員会を開催した。委員会は、5つの会からの委員で構成した。開始当初は、委員会内で各自が取り組みたいことを出し合い、それを小エリアの計画案として取りまとめるための試行を行った。先ず最初のエリアとして「御所谷（ガマ池から大えのきまで）」について土地の特性と留意すべき事項を踏まえた管理計画素案を作成した。次年度はその内容の充実と、他エリアへの展開を予定している。

・日時：2023年10月から毎月一回開催（計6回）

・場所：鎌倉広町緑地

・従事者人員：延べ45名

・受益対象者：市民

(2) 都市林公園づくりの活動を通じて、自然環境の重要性について、多くの人々、とくに次代を引き継ぐ青少年の環境教育を支援するための事業

① かまくら緑の探偵団の運営に関する事業

- ・内容：広町の森での、次世代を継ぐ若い世代の学習の場を提供した。田植え、稲刈り、麦踏み、サトイモ・サツマイモの植え付けや収穫、植樹祭への参加、水辺の生き物観察など、田んぼや畑などの里山活動と連携し、季節を通じた活動を行った。また、2023年度は神奈川緑の少年団交流集会の一環として秦野の戸川公園で落花生の収穫体験などに参加した。
- ・日時：通年（活動日数延べ15日）
- ・場所：鎌倉広町緑地内等
- ・従事者人員：延べ110人
- ・受益対象者：探偵団団員および市民

② 幼稚園、保育園、小中高校の自然体験受け入れ事業

- ・内容：田んぼの田植え、稲刈、脱穀作業、芋掘りなど畑地作業、緑地内パトロール、樹林地保護作業への参加など、里山活動を通じて小中高校の児童、生徒、学生の受け入れ、環境教育活動の支援を行った。
- ・日時：通年（活動日数延べ13日）
- ・場所：鎌倉広町緑地内
- ・従事者人員：延べ88人
- ・受益対象者：参加する児童生徒および市民

③ 高校生ボランティア受け入れ

- ・内容：イベント開催時、夏休み等にボランティアの受け入れを行った。
- ・人数：述べ受け入れ人数 44名

④ ボランティア説明会の開催

- ・内容：安心して広町のボランティア活動に参加頂く為の説明の場として、「ボランティア説明会」を2023年10月から開始した。広町緑地の成り立ちや活動団体の紹介、現地見学などを行った。その後の活動として、活動団体への参加の支援を行った。
- ・日時：毎月第二日曜日 午後1時から2時
- ・場所：鎌倉広町緑地管理事務所学習室（現場見学含む）
- ・従事者人員：延べ15人
- ・受益対象者：市民（ボランティア希望者）

⑤ 大学等研究機関との連携

1) 鳥類標識調査

山階鳥類研究所 調査員 高橋和也氏実施の鳥類標識調査への支援を行った。
（調査期間は、R5年4月1日から R6年 3月31日まで）

(3) 鎌倉広町緑地を拠点として行う各種イベントの企画運営事業

① 里山復元活動の成果を市民とわかちあうイベント事業

- ・内容：植樹祭、田植え祭、稲刈り祭、収穫祭など予定通り開催した。
- ・開催実績：
 - 5月20日 植樹祭（参加人数 45人）
 - 6月10日 田植え会（参加人数 289人）
 - 10月8日 稲刈り祭（参加人数 182人）
 - 11月18日 収穫祭（参加人数 531人）
- ・場所：鎌倉広町緑地
- ・従事者人員：161人（一般ボランティアを含む）
- ・受益対象者：市民

② 収穫物を活用した体験講座

- ・内容：豆腐作り教室、草木染め教室、そば打ち教室など、里山保全活動での収穫物を元に体験講座を開催した。コンニャクづくり教室も予定したが、不作の為中止とした。
- ・開催実績：
 - 5月14日 春の広町で野草料理を楽しむ（参加人数 13人）
 - 5月27日 豆腐作り教室（参加人数 23人）
 - 8月20日 草木染教室（参加人数 26人）
 - 9月17日 秋の広町で野草料理を楽しむ（参加人数 13人）
 - 2月25日 そば打ち教室（参加人数 30人）
- ・場所：鎌倉広町緑地管理事務所、腰越学習センター
- ・従事者人員：延べ24人
- ・受益対象者：市民

③ 鎌倉広町緑地ガイド活動

1) 緑地ガイド（里山さんぽ）

- ・内容：広町緑地の魅力を広く市民に知ってもらうため、市民ボランティアや市民の会会員が中心となり実施するガイド活動を実施した。里山の四季にあわせ、年間8回開催した。
- ・開催実績：
 - 4月22日 春の植物観察会（参加人数 22人）
 - 4月29日 大桐・藤の鑑賞会（参加人数 19人）
 - 8月5日 夜の昆虫観察会（参加人数 30人）
 - 8月27日 夏のチョウ観察会（参加人数 21人）
 - 9月23日 秋の植物観察会（参加人数 17人）
 - 12月16日 広町紅葉散歩（参加人数 7人）
 - 1月28日 冬の野鳥観察会（参加人数 19人）
 - 3月31日 大桜鑑賞会（参加人数 21人）
- ・場所：鎌倉広町緑地内
- ・従事者人員：延べ25人
- ・受益対象者：市民

(4) 鎌倉広町緑地の指定管理に関する事業

① 指定管理者受託を受けての業務

- ・内容：「令和5年度鎌倉広町緑地の事業計画書・収支予算書」記載の担当業務を鎌倉市公園協会と協働し実施した。
- ・日時：通年
- ・場所：鎌倉広町緑地ほか
- ・従事者人員：約20人

- ・受益対象者：市民
- ② 管理運営協議会を開催して共同事業体としての連携を図る事業
- ・内容：指定管理業務の円滑な推進の為に連絡調整の場として管理運営協議会を毎月開催した。9月は開催を中止した。
 - ・開催回数：11回
 - ・場所：鎌倉広町緑地管理事務所、腰越行政センター
 - ・従事者人員：延べ92人
 - ・受益対象者：市民
- ③ 安全管理の徹底に関する事業
- ・内容：安全管理委員会により刈払い機安全講習会を6月25日に開催（参加人数4人）した。11月12日に収穫祭の安全な開催のために、消防署の指導の下、消防訓練を実施した（参加人数20人）
 - ・場所：鎌倉広町緑地内
 - ・従事者人員：5人
 - ・受益対象者：市民
- (5) 鎌倉広町緑地を利用して行う保健、福祉活動の支援事業**
- ① 福祉施設への収穫物の寄付に関する事業
- ・内容：身体障害者施設、独居老人に対するサービス施設への収穫物の寄付を元理事の渡邊公子氏を窓口として行った。
 - ・日時：10月～1月
 - ・場所：各施設
 - ・従事者人員：5人
 - ・受益対象者：市民
- (6) 鎌倉広町緑地に関する情報提供事業**
- ① 会報「広町からの風」の発行に関する事業
- ・発行実績：
 - 62号 2023年6月30日発行（タイトル：この夏は未来に向けた準備の時です☆）
 - 63号 2023年9月15日発行（タイトル：広町緑地にチカラを貸してください☆）
 - 64号 2023年12月15日発行（タイトル：今年の収穫祭が終わりました☆）
 - 65号 2024年3月30日発行（タイトル：新たな挑戦の一年が始まります☆）
- ② 広町緑地公式ニュース「ひろまちだより」の発行に関する事業
- ・内容：主に紙媒体による、広町緑地の魅力を広く紹介する広報活動を行った。
 - ・日時：年4回（各1,000部）
 - ・従事者人員：延べ20人
 - ・受益対象者：市民
- ③ 「広町花ごよみ」の発行に関する事業
- ・内容：季節の花を紹介する「花ごよみ」（年3回発行）を制作した。
 - ・発行：年3回（春号 夏号 秋冬号）
 - ・従事者人員：12人
 - ・受益対象者：市民
- ④ 花図鑑に関する事業
- ・内容：2012年度に制作した広町花図鑑の販売を行った。
 - ・実績：45冊販売

- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：市民

⑤ 市民の会ホームページ、ブログ等の運営に関する事業

- ・内容：市民の会ホームページでは、ボランティア活動を中心に、時宜にかなった情報をタイムリーに発信した。
- ・日時：通年
- ・従事者人員：10人
- ・受益対象者：市民

⑥ 鎌倉広町緑地公式ホームページ、フェイスブック、ツイッター等の運営に関する事業

- ・内容：公式ホームページでは、緑地の動植物の季節の変化をとらえた魅力の紹介に努めた。併せて広町緑地を支えるボランティア活動の紹介や、ボランティア活動への参加呼びかけにも配慮した。指定管理者としての業務の紹介等も行った。
- ・日時：通年（月平均2回以上更新）
- ・従事者人員：10人
- ・受益対象者：市民

⑦ 各所でのイベントへの参加・出展

- ・内容：「キララフェスティバル腰越」（2023年11月10日～12日）、「鎌倉市民活動フェスティバル」（2023年12月2日～3日）へ参加し、パネル展示などの広報活動を実施した。
- ・日時：年2回、通算5日
- ・従事者人員：10人
- ・受益対象者：市民

(7) 助成金受託に関する事業

かまくら緑の探偵団助成金(かながわトラスティみどり財団)を受け、子ども関連事業とし実施した。その他の助成金受託活動は行わなかった。

(8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

① 事務局運営の改善への取り組み

2023年度から全面的に事務局長業務を望月さんから渡邊に移管した。運営を円滑化する上で業務 SNS の活用 (LINE WORKS) による業務連絡の円滑化を推進した。また、業務のマニュアル化の推進を行ったが、十分には達成できていない。文書管理は、一定のルールをつくりファイリング方法を刷新した。

経理システムを従来の税理士事務所の管理から、クラウド型ソフト「freee」による管理に切り替えた。

2024年度を迎えるにあたり、事務局体制の改善について検討を行い、役割分担表を整え、業務分担を明確化した。

② 総会、理事会、5つの会連絡会に関する事業

管理運営の基本である、PDCA を回すしくみを検討し、その役割を持つ組織構成を検討した。

結果として、現場の運営調整を行う「活動団体連絡会 (従来の5つの会連絡会)」と PDCA のコントロールタワーの役割を担う「管理運営委員会」により運営する方式の提案を取りまとめた。2024年度からの運営を開始すべく、従来から設置の「環境保全委員会」を中心にその準備を行った。

以上